

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-244694
(P2000-244694A)

(43) 公開日 平成12年9月8日(2000.9.8)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-73-ト*(参考)
H 0 4 N 1/00	1 0 4	H 0 4 N 1/00	1 0 4 Z 5 C 0 6 2
	1 0 7		1 0 7 Z

審査請求 未請求 請求項の数35 O L (全 27 頁)

(21) 出願番号 特願平11-38677

(22) 出願日 平成11年2月17日(1999.2.17)

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 河村 卓也

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

(74) 代理人 100077481

弁理士 谷 義一 (外1名)

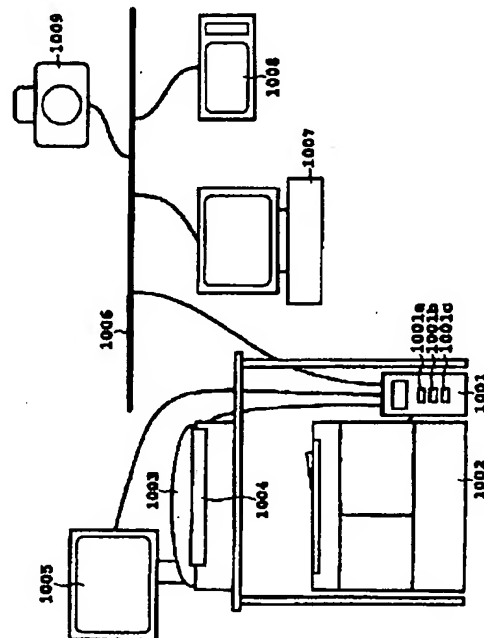
Fターム(参考) 5C062 AA05 AA14 AA35 AB17 AB22
AB23 AB25 AB43 AC02 AC04
AC22 AC23 AC43 AF01 AF02
AF12 AF14

(54) 【発明の名称】 画像処理装置および画像処理方法

(57) 【要約】

【課題】 ユーザとサーバとを結ぶネットワークシステムにおける、管理者の業務の省力化を図ること。

【解決手段】 サーバの本体1001内の記憶装置に自動的にプライベートボックスを登録発行し、ユーザがネットワーク1006を介してプライベートボックスを利用可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像データを入力するデータ入力手段と、

前記画像データを出力するデータ出力手段と、

各部の動作指示を行う操作手段と、

ネットワークを介して情報の送受を行うネットワーク制御手段と、

ユーザに対して一意なユーザ識別情報を発行する識別発行手段と、

前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域を有する記憶手段と、

前記操作手段又は前記ネットワーク制御手段から、パスワード、メールアドレス、転送先アドレスを入力する手段と、

前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に、前記パスワード、前記メールアドレス、前記転送先アドレス、前記画像データを記憶する手段と、

前記ユーザ識別情報と前記パスワードとによってユーザの正当性を判定し、正当なユーザのみに前記ユーザ領域内における前記画像データの処理を許可する手段と、

前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に前記画像データを記憶するとき、既定時間以上記憶された画像データを前記転送先アドレスに転送するか否かを選択する手段と、

前記ユーザ領域内の画像データが前記既定時間以上記憶されている場合は、当該画像データを削除する手段と、前記既定時間以上記憶されている画像データを削除する前に、前記ユーザに警告を行う手段と、

前記既定時間以上記憶されている画像データを削除する前に、当該画像データを転送先に転送する手段と、前記ユーザ領域内に画像データが存在しない場合は、当該ユーザ領域を削除する手段と、

前記画像データの削除、転送の結果を前記ユーザに通知する手段とを具えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】 前記データ出力手段は、前記画像データを印刷、表示する手段であることを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】 前記画像データは、前記記憶手段に登録される日時、データサイズを含むファイル構造を有することを特徴とする請求項1又は2記載の画像処理装置。

【請求項4】 前記画像データは、前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域に分割されたディレクトリ構造を含むファイルシステムに基づいたデータであることを特徴とする請求項1又は2記載の画像処理装置。

【請求項5】 前記ネットワーク制御手段からの指示に基づいて、ネットワークを経由して獲得した画像データを前記記憶手段内のユーザ領域に記憶することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項6】 前記ネットワーク制御手段からの指示に

基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを削除することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項7】 前記操作手段からの指示に基づいて、前記データ入力手段からの画像データを前記記憶手段内のユーザ領域に記憶することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項8】 前記操作手段からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データをプリント装置によってハードコピーすることを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項9】 前記操作手段からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを表示装置によって表示することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項10】 前記操作手段からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを、前記ネットワーク制御手段によって前記操作手段で指示した転送先に転送することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項11】 前記操作手段からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを削除することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項12】 前記ネットワーク制御手段は、ネットワーク先に接続された各種ネットワーク端末との送受を行うことを特徴とする請求項1ないし11のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項13】 前記記憶手段は、磁気記録装置であることを特徴とする請求項1ないし12のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項14】 前記データ出力手段は、電子写真方式のプリント装置を含むことを特徴とする請求項1ないし13のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項15】 前記データ出力手段は、インクジェット方式のプリント装置を含むことを特徴とする請求項1ないし13のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項16】 前記データ出力手段は、CRT表示装置を含むことを特徴とする請求項1ないし15のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項17】 前記表示装置は、液晶表示装置であることを特徴とする請求項16記載の画像処理装置。

【請求項18】 前記データ入力手段は、フラットヘッドスキャナであることを特徴とする請求項1ないし17のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項19】 前記データ入力手段は、原稿自走型スキャナであることを特徴とする請求項1ないし17のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項20】 前記データ入力手段は、フィルムスキャナであることを特徴とする請求項1ないし17のい

れかに記載の画像処理装置。

【請求項21】 前記ネットワークと接続されるネットワーク端末は、デジタルカメラとネットワーク通信装置とにより構成されることを特徴とする請求項1ないし20のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項22】 前記ネットワーク端末は、パーソナルコンピュータであることを特徴とする請求項21記載の画像処理装置。

【請求項23】 前記ネットワーク端末は、携帯用情報端末であることを特徴とする請求項21記載の画像処理装置。

【請求項24】 画像データを入力するデータ入力工程と、

前記画像データを出力するデータ出力工程と、

各部の動作指示を行う操作工程と、

ネットワークを介して情報の送受を行うネットワーク制御工程と、

ユーザに対して一意なユーザ識別情報を発行する識別発行工程と、

前記操作工程又は前記ネットワーク制御工程により、パスワード、メールアドレス、転送先アドレスを入力する工程と、

記憶手段のユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に、前記パスワード、前記メールアドレス、前記転送先アドレス、前記画像データを記憶する工程と、

前記ユーザ識別情報と前記パスワードとによってユーザの正当性を判定し、正当なユーザのみに前記ユーザ領域内における前記画像データの処理を許可する工程と、

前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に前記画像データを記憶するとき、既定時間以上記憶された画像データを前記転送先アドレスに転送するか否かを選択する工程と、

前記ユーザ領域内の画像データが前記既定時間以上記憶されている場合は、当該画像データを削除する工程と、前記既定時間以上記憶されている画像データを削除する前に、前記ユーザに警告を行う工程と、

前記既定時間以上記憶されている画像データを削除する前に、当該画像データを転送先に転送する工程と、前記ユーザ領域内に画像データが存在しない場合は、当該ユーザ領域を削除する工程と、

前記画像データの削除、転送の結果を前記ユーザに通知する工程とを具えたことを特徴とする画像処理方法。

【請求項25】 前記データ出力手段は、前記画像データを印刷、表示する手段であることを特徴とする請求項24記載の画像処理方法。

【請求項26】 前記画像データは、前記記憶手段に登録される日時、データサイズを含むファイル構造を有することを特徴とする請求項24又は25記載の画像処理方法。

【請求項27】 前記画像データは、前記ユーザ識別情

報に対応したユーザ領域に分割されたディレクトリ構造を含むファイルシステムに基づいたデータであることを特徴とする請求項24又は25記載の画像処理方法。

【請求項28】 前記ネットワーク制御工程による指示に基づいて、ネットワークを経由して獲得した画像データを前記記憶手段内のユーザ領域に記憶することを特徴とする請求項24ないし27のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項29】 前記ネットワーク制御工程による指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを削除することを特徴とする請求項24ないし27のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項30】 前記操作工程からの指示に基づいて、前記データ入力工程からの画像データを前記記憶手段内のユーザ領域に記憶することを特徴とする請求項24ないし27のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項31】 前記操作工程からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データをプリント装置によってハードコピーすることを特徴とする請求項24ないし27のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項32】 前記操作工程からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを表示装置によって表示することを特徴とする請求項24ないし27のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項33】 前記操作工程からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを、前記ネットワーク制御工程によって前記操作工程で指示した転送先に転送することを特徴とする請求項24ないし27のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項34】 前記操作工程からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを削除することを特徴とする請求項24ないし27のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項35】 コンピュータによってデータ処理を制御するためのプログラムを記録した媒体であって、該制御プログラムはコンピュータに、画像データを入力、および、各部の動作指示の操作を行なわせ、

ネットワークを介して情報の送受を行なわせ、

ユーザに対して一意なユーザ識別情報を発行させ、

パスワード、メールアドレス、転送先アドレスを入力させ、

記憶手段のユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に、

前記パスワード、前記メールアドレス、前記転送先アドレス、前記画像データを記憶させ、

前記ユーザ識別情報と前記パスワードとによってユーザの正当性を判定させて、正当なユーザのみに前記ユーザ領域内における前記画像データの処理を許可させ、

前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に前記画像

データを記憶させるとき、既定時間以上記憶された画像データを前記転送先アドレスに転送させるか否かを選択させ、

前記ユーザ領域内の画像データが前記既定時間以上記憶されている場合は、当該画像データを削除させ、

前記既定時間以上記憶されている画像データを削除させる前に、前記ユーザに警告、若しくは、当該画像データを転送先に転送させ、

前記ユーザ領域内に画像データが存在しない場合は、当該ユーザ領域を削除させ、

前記画像データの削除、転送の結果を前記ユーザに通知させることを特徴とする画像処理制御プログラムを記録した媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、画像データを入力する装置と画像データを記憶する装置とネットワークを通して画像データや制御命令を送受できるネットワーク制御装置を有する画像処理装置および画像処理方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、スキャナのような画像入力装置で取込んだ画像データやネットワークで接続されたパーソナルコンピュータのようなネットワーク端末から送られた画像データを一端ハードディスクのような記憶装置に蓄積してから、プリントしたり、ディスプレイに表示したいするイメージサーバと呼ばれるシステムが提案されている。特に、プリントに限る場合は、プリントサーバと呼ばれる場合も多い。

【0003】このようなイメージサーバシステムにおいて、ユーザ個人の画像データを記憶装置内部の特定のユーザ領域に格納し、特定のユーザ領域内の画像データは、特定のパスワードを用いなければアクセスできないようにする“プライベートボックス”と呼ばれるシステムも提案されている。

【0004】プライベートボックスは、他人に見られたくないような画像データをネットワーク端末からの操作でイメージサーバの記憶装置内に格納した後、プリント装置の前に移動したユーザが、プリント装置に接続された操作装置でのパスワードを用いた操作によって、プリントを実行することにより、ハードコピーを他人に入手されることなく安全に獲得することに用いられる。このようなプライベートボックスは、イメージサーバの管理者（アドミニストレータ）が予め記憶装置内に特定ユーザ向けの記憶領域を確保し、ユーザを認定するユーザIDを発行することで実現されていた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】一方、ネットワークの普及によって、いつでも誰でも利用できるが、他人には画像データを利用されることが無いイメージサーバ

への要求が増加している。例えば、プリントサービスショップで、自宅で作成した画像をプリントしてもらう場合には、従来、光磁気ディスクのようなリムーバブルメディアに画像データを蓄積して、プリントサービスショップに持ち込んでいた。これをネットワークを使って、画像データをプリントショップに転送する方法も提案されているが、プライベートボックスを用いなければ、他人に画像を見られる心配が解消されない。

【0006】一方、プライベートボックスを用いるなら、予めショップの管理者と契約することにより、プライベートボックスを設定してもらわなければ、利用することができず、急なプライベートボックスの利用要求に答えられずに不便である。

【0007】また、イメージサーバのシステム操作部からのプライベートボックス設定の場合も、管理者しかプライベートボックスを設定できないシステムでは、ユーザの要望に答えるために、プライベートボックスの管理者をイメージサーバに対して常駐させなければならない。イメージサーバのシステム操作部からのプライベートボックス設定の場合も、ユーザだけの操作で、プライベートボックスとユーザIDの自動設定ができるようにすることによって効率を上げたいという要求もある。

【0008】また、デジタルカメラやPDAといった携帯型の画像処理装置の普及は、新しい要求を生み出した。これら携帯型画像処理装置は、小型化とバッテリーの持続時間の制約から、十分な画像データ記憶装置を持っていない場合が多い。このため、メモ리카ードのようなリムーバブルメディアに画像データを蓄積して、リムーバブルメディアを入れ替えて使うが、多くの予備のリムーバブルメディアを持ち歩くことになるため不便であった。

【0009】携帯型画像処理装置にネットワーク制御装置を有する携帯電話を接続することにより、画像データをネットワークを用いて自分のパソコン等に転送することも提案されている。しかし、プリンタを持っていないユーザの場合、自分のパソコンに転送した後、再び、プリントサービスショップに画像データを持ち込むか、他人にデータを見られる心配をしながらプリントサービスショップのイメージサーバにデータを直接転送するか、予めプリントサービスショップと契約してプライベートボックスを確保しておくかのいずれかを迫られることになる。

【0010】そこで、本発明の目的は、サーバ本体に自動的にプライベートボックスを登録発行し、ユーザがネットワークを介してそのプライベートボックスを利用可能なシステムを構築することにより、管理者業務の省力化を図ることが可能な画像処理装置および画像処理方法を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は、画像データを

入力するデータ入力手段と、前記画像データを出力するデータ出力手段と、各部の動作指示を行う操作手段と、ネットワークを介して情報の送受を行うネットワーク制御手段と、ユーザに対して一意なユーザ識別情報を発行する識別発行手段と、前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域を有する記憶手段と、前記操作手段又は前記ネットワーク制御手段から、パスワード、メールアドレス、転送先アドレスを入力する手段と、前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に、前記パスワード、前記メールアドレス、前記転送先アドレス、前記画像データを記憶する手段と、前記ユーザ識別情報と前記パスワードとによってユーザの正当性を判定し、正当なユーザのみに前記ユーザ領域内における前記画像データの処理を許可する手段と、前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に前記画像データを記憶するとき、既定時間以上記憶された画像データを前記転送先アドレスに転送するか否かを選択する手段と、前記ユーザ領域内の画像データが前記既定時間以上記憶されている場合は、当該画像データを削除する手段と、前記既定時間以上記憶されている画像データを削除する前に、前記ユーザに警告を行う手段と、前記既定時間以上記憶されている画像データを削除する前に、当該画像データを転送先に転送する手段と、前記ユーザ領域内に画像データが存在しない場合は、当該ユーザ領域を削除する手段と、前記画像データの削除、転送の結果を前記ユーザに通知する手段とを具えることによって、画像処理装置を構成する。

【0012】また、本発明は、画像データを入力するデータ入力工程と、前記画像データを出力するデータ出力工程と、各部の動作指示を行う操作工程と、ネットワークを介して情報の送受を行うネットワーク制御工程と、ユーザに対して一意なユーザ識別情報を発行する識別発行工程と、前記操作工程又は前記ネットワーク制御工程により、パスワード、メールアドレス、転送先アドレスを入力する工程と、記憶手段のユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に、前記パスワード、前記メールアドレス、前記転送先アドレス、前記画像データを記憶する工程と、前記ユーザ識別情報と前記パスワードとによってユーザの正当性を判定し、正当なユーザのみに前記ユーザ領域内における前記画像データの処理を許可する工程と、前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に前記画像データを記憶するとき、既定時間以上記憶された画像データを前記転送先アドレスに転送するか否かを選択する工程と、前記ユーザ領域内の画像データが前記既定時間以上記憶されている場合は、当該画像データを削除する工程と、前記既定時間以上記憶されている画像データを削除する前に、前記ユーザに警告を行う工程と、前記既定時間以上記憶されている画像データを削除する前に、当該画像データを転送先に転送する工程と、前記ユーザ領域内に画像データが存在しない場合は、当該ユーザ領域を削除する工程と、前記画像データの削除、転送

の結果を前記ユーザに通知する工程とを具えることによって、画像処理方法を提供する。

【0013】また、本発明は、コンピュータによってデータ処理を制御するためのプログラムを記録した媒体であって、該制御プログラムはコンピュータに、画像データの入出力、および、各部の動作指示の操作を行なわせ、ネットワークを介して情報の送受を行なわせ、ユーザに対して一意なユーザ識別情報を発行させ、パスワード、メールアドレス、転送先アドレスを入力させ、記憶手段のユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に、前記パスワード、前記メールアドレス、前記転送先アドレス、前記画像データを記憶させ、前記ユーザ識別情報と前記パスワードとによってユーザの正当性を判定させて、正当なユーザのみに前記ユーザ領域内における前記画像データの処理を許可させ、前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域内に前記画像データを記憶させるとき、既定時間以上記憶された画像データを前記転送先アドレスに転送させるか否かを選択させ、前記ユーザ領域内の画像データが前記既定時間以上記憶されている場合は、当該画像データを削除させ、前記既定時間以上記憶されている画像データを削除させる前に、前記ユーザに警告、若しくは、当該画像データを転送先に転送させ、前記ユーザ領域内に画像データが存在しない場合は、当該ユーザ領域を削除させ、前記画像データの削除、転送の結果を前記ユーザに通知させることによって、画像処理制御プログラムを記録した媒体を提供する。

【0014】ここで、前記データ出力手段は、前記画像データを印刷、表示する手段とすることができる。

【0015】前記画像データは、前記記憶手段に登録される日時、データサイズを含むファイル構造を有することができる。

【0016】前記画像データは、前記ユーザ識別情報に対応したユーザ領域に分割されたディレクトリ構造を含むファイルシステムに基づいたデータとすることができる。

【0017】前記ネットワーク制御手段からの指示に基づいて、ネットワークを経由して獲得した画像データを前記記憶手段内のユーザ領域に記憶することができる。

【0018】前記ネットワーク制御手段からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを削除することができる。

【0019】前記操作手段からの指示に基づいて、前記データ入力手段からの画像データを前記記憶手段内のユーザ領域に記憶することができる。

【0020】前記操作手段からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データをプリント装置によってハードコピーすることができる。

【0021】前記操作手段からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを表示装置によって表示することができる。

【0022】前記操作手段からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを、前記ネットワーク制御手段によって前記操作手段で指示した転送先に転送することができる。

【0023】前記操作手段からの指示に基づいて、前記記憶手段内のユーザ領域に記憶された画像データを削除することができる。

【0024】前記ネットワーク制御手段は、ネットワーク先に接続された各種ネットワーク端末との送受を行うことができる。

【0025】前記記憶手段は、磁気記録装置とすることができる。

【0026】前記データ出力手段は、電子写真方式のプリント装置、インクジェット方式のプリント装置、CRT表示装置を含むことができる。

【0027】前記表示装置は、液晶表示装置とすることができる。

【0028】データ入力手段は、フラットヘッドスキャナ、原稿自走型スキャナ、フィルムスキャナとすることができる。

【0029】前記ネットワークと接続されるネットワーク端末は、デジタルカメラとネットワーク通信装置とにより構成することができる。

【0030】前記ネットワーク端末は、パーソナルコンピュータ、携帯用情報端末とすることができる。

【0031】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【0032】図1は、本発明に適用される画像処理システムの構成例を示す。

【0033】1001は、イメージサーバの本体であり、この内部には、記憶装置1001aとしてのディスクアレイと、ネットワーク制御装置1001bと、本システム全体を制御するシステム制御装置1001cとしてのコントローラとを備えている。

【0034】1002は、電子写真式によるデジタルカラープリンタであり、本体1001の記憶装置1001a内の画像データのプリント処理の実行が可能である。

【0035】1003は、フラットヘッドスキャナであり、カラー原稿を読み込んで、カラー画像データを本体1001に送ることが可能である。

【0036】1004は操作装置であり、各装置の動作条件の設定に用いる。1005は、表示装置であるカラー液晶ディスプレイであり、本体1001の記憶装置1001a内の画像データを表示することができる。

【0037】1006はネットワークケーブルであり、インターネットのようなワールドエリアのネットワークを表現している。

【0038】1007は、ネットワークに接続されたネットワーク端末の1つであるパーソナルコンピュータで

あり、画像データを本体1001に転送したり、本体1001から転送されたりすることが可能である。

【0039】1008は、ネットワークに接続されたネットワーク端末の1つである携帯情報端末(PDA: Personal Digital Asistants)であり、画像データを本体1001に転送したり、本体1001から転送されたりすることが可能である。

【0040】1009は、デジタルカメラであり、とり来んだ画像データを本体1001にネットワークを通して転送することが可能である。

【0041】なお、図1において、1008や1009は、物理的にネットワークに接続されているように描かれているが、携帯電話のような無線端末を経由したダイヤルアップIPサービスによるネットワーク接続を使用することも可能である。

【0042】図2は、本システムの制御系をブロック化して示す。

【0043】2001は、本体1001内にあるイメージサーバ制御部であり、本システム全体の制御を行う。

【0044】2002は、本体1001内にある記憶装置制御部であり、本体1001内のディスクアレイを制御し、画像データの記憶、読み出し、削除を行う。

【0045】2003は、デジタルカラープリンタ1002内のプリンタ制御部であり、デジタルカラープリンタ1002を制御し、画像データのプリントを行う。

【0046】2004は、フラットベッドスキャナ1003内のスキャナ制御部であり、フラットベッドスキャナ1003を制御し、画像データを取込む。

【0047】2005は、カラー液晶ディスプレイ1005内のディスプレイ制御部であり、カラー液晶ディスプレイ1005の表示装置を制御して画像データを表示する。

【0048】2006は、操作装置1004を制御するシステム制御(操作)部であり、各種の操作情報を2001を経由して各制御部に指示する。

【0049】2007は、本体1001内のネットワーク制御部であり、画像データや各装置の制御情報をネットワークを経由して送受する。

【0050】図3は、操作装置1004の一部を示す。

【0051】400は、タッチパネルディスプレイであり、各種動作モードの設定、および、表示を行う場合に押す。

【0052】401は、リセットキーであり、動作モードを標準に戻す場合に押す。

【0053】402はストップキーであり、プリントやスキャン動作を中止する場合に押す。

【0054】403は、テンキー群であり、プリント枚数の設定及びその他の数値を入力する場合に押す。

【0055】404は、予熱キーであり、本装置の消費電力を抑制するための予熱モードへ移行する場合、及

び、予熱モードから復帰する場合に押す。

【0056】405は、割込みキーであり、実行中のプリントを一旦中断し、他の動作を割込ませる場合に押す。

【0057】406は、コールキーであり、例えば3回までの実行した動作モードを呼び戻す場合に押す。

【0058】407は、暗証キーであり、管理用の暗証モードで使用する場合に押す。

【0059】408は、クリアキーであり、プリント枚数を1に戻す場合に押す。

【0060】409は、スタートキーであり、プリントやスキャン動作を開始する場合に押す。

【0061】410は、機能キーであり、種々の機能を設定する場合に押す。

【0062】なお、操作装置1004は、図3の図示部分の加えて、文字情報入力用のキーボードも有する。

【0063】図4は、図3のタッチパネルディスプレイ400の表示例を示す。

【0064】4001は、倍率表示であり、ズーム設定用タッチキー4002、拡大設定用タッチキー4003、縮小設定用タッチキー4004、及び、等倍設定用タッチキー4005を用いて設定される。

【0065】4006は、用紙選択用タッチキーであり、用紙の種類を選択する場合に押す。

【0066】4007は、プリント若しくはコピー枚数表示である。

【0067】4008は、原稿モード選択用タッチキーであり、原稿の種類（文字原稿、写真原稿、文字写真混在原稿）を選択する場合に押す。

【0068】4009は濃度自動調節モードオン・オフ用タッチキー、4010は濃度をマニュアルで調節する場合に押す濃度マニュアル調節用タッチキーである。

【0069】4011は、ACS（オートカラーセレクト）用タッチキーであり、これを押すと原稿の白黒・カラーを自動的に判定し、白黒原稿のとき白黒スキャン、カラー原稿のときカラースキャンを自動的に選択する。

【0070】4012はフルカラーコピーを選択する場合に押すフルカラー用タッチキー、4013は白黒コピーを選択する場合に押す白黒用タッチキー、4014はコピープリント切替タッチキーであり、本システムをスキャナからプリンタへ画像データを送るコピー機として用いる時に押す。

【0071】コピーモード状態で、もう一度4014を押すか、ネットワーク制御装置がネットワークからの信号を受け取ると、プリンタモードへの切替が行われる。

【0072】4015は、原稿検知用タッチキーであり、これを押すと原稿の位置とサイズを自動的に検知する。

【0073】4016は、センタ移動用タッチキーであり、これを押すと原稿画像を用紙の中央にコピーするこ

とができる。

【0074】4017は、モードメモリ用タッチキー群であり、予め9組まで記憶させておいた動作モードから所望の動作モードを選択するためのモードメモリ用タッチキーを有している。

【0075】4018は、プライベートボックス機能タッチキーであり、本例においては、プライベートボックスを制御するための画面を呼び出すために用いる。

【0076】図5は、図4の操作部設定用タッチキーを押すことにより、呼び出されるプライベートボックス制御画面であり、ユーザID（識別情報）の入力を行うか、新規ユーザの登録画面を呼び出すことができる。

【0077】5001は、登録済みユーザのためのユーザIDの入力エリアであり、図3のテンキー403を用いて、ユーザIDのナンバーを入力できる。

【0078】5002は、新規ユーザの登録画面を呼び出すための新規ユーザキーである。新規ユーザの登録画面は、図6で詳述する。

【0079】5003は、OKキーであり、5001にIDを入力した後、パスワード入力画面を呼び出すために押す。パスワード入力画面は、図9で詳述する。

【0080】5004キーは、取消キーであり、操作を取消して、前の画面に戻るために押す。

【0081】図6は、新規ユーザ登録画面を示す。

【0082】6001は、新規ユーザのユーザID表示エリアであり、新規ユーザに新しく自動発行されるユーザIDが表示される。ユーザIDの自動発行のアルゴリズムは、後述する。

【0083】6002は、パスワードの入力エリアであり、1004の一部であるキーボードを用いてユーザが自分のパスワードを任意に決定して入力することができる。

【0084】6003は、OKキーであり、パスワード入力を確定するために押す。

【0085】6004は、取消キーであり、操作を取消して前の画面に戻る場合に押す。

【0086】6005は、メールアドレスの入力エリアであり、ユーザはキーボードを用いてメールアドレスを入力できる。

【0087】6006は、自動転送希望ボタンであり、自動転送を希望するユーザがOKキー6003を押す前に押す。6006を押すと、図7の転送先アドレス入力画面が現れる。

【0088】図7は、自動転送先アドレス入力画面を示す。

【0089】39001は、転送先アドレス入力エリアであり、ユーザはキーボードを用いて、転送先アドレスを入力することができる。

【0090】39002は、OKキーであり、押されると転送先アドレスが確定され、図6の画面に戻る。

【0091】39003は、取消しキーであり、操作を取消して前の画面に戻る場合に押す。

【0092】図8は、図6の入力エリア6002に新規ユーザが入力したパスワードを確認する画面を示す。OKキー6003が押されると、表示される。

【0093】7001は、パスワードの再入力エリアであり、操作装置1004の一部であるキーボードを用いて、ユーザが入力エリア6002に入力したパスワードをもう一度入力する。

【0094】7002は、OKキーであり、再入力エリア7001に入力されたパスワードを確認するために押す。

【0095】7003は、取消しキーであり、操作を取消して前の画面に戻るために押す。もし、入力エリア6002の入力パスワードと再入力エリア7001の入力パスワードとが異なる場合は、図8の画面が表示され続けるため、取消しキー7003を押すことによって、図6の画面に戻ってパスワードを設定し直す。入力エリア6002と再入力エリア7001の入力パスワードが等しければ、ユーザのパスワードが確定され、イメージサーバに保存され、画面は、図10に示すプライベートボックスの機能選択画面に遷移する。パスワードの保存の仕方については、後述する。

【0096】図9は、登録済みユーザのパスワード入力画面であり、図5に示すユーザIDの入力エリア5001にIDを入力した後、5003のOKキーを押された場合に呼び出される。

【0097】8001は、パスワード入力エリアであり、登録済みユーザが操作装置1004の一部であるキーボードを用いて、自分のパスワードを入力する。

【0098】8002は、OKキーであり、パスワード入力エリア8001に入力したパスワードを確認する時に押す。

【0099】8003は、取消しキーであり、操作を取消して前の画面に戻る場合に押す。入力されたパスワードが正しい場合、画面は、図10に示すプライベートボックスの機能選択画面に遷移する。パスワードが正しくなければ、画面が遷移せず、正しいパスワードを入れ直すか、取消しキーによって前の画面に戻ることになる。

【0100】図10は、プライベートボックスの機能選択画面を示す。

【0101】9001は、画像表示機能キー、9002はプリント出力機能キー、9003はスキャナ入力機能キー、9004はデータ転送機能キー、9005はデータ削除機能キーであり、各機能の操作画面を選択するために択一的に押される。

【0102】9006は、OKキーであり、9001から9005のいずれかを選択した後に押すことで、画面が各機能の操作画面に遷移する。

【0103】9007は、取消しキーであり、操作を取

消して前の画面に戻る場合に押す。

【0104】図11は、画像表示操作画面を示しており、図10の画像表示機能キー9001により画像表示機能が選択された後、OKキー9006を押すことにより呼び出される。

【0105】10001は、表示する画像データを表す画像ナンバーを入力するエリアである。

【0106】10002は、記憶装置内でユーザが利用できるユーザ領域に格納されている画像データの画像ナンバーをリストとして表示している。

【0107】10003と10004とは、画像ナンバーのリストをスクロールするためのスクロールキーである。

【0108】10002に表示されるリストにより、ユーザは選択する画像ナンバーを確認できる。

【0109】10005は、表示キーであり、10001に入力された画像ナンバーの画像を表示するために押す。10005が押されると、イメージサーバ制御部2001の指示により、記憶装置制御部2002は、10001に入力された画像ナンバーに対応する画像データのファイルを、記憶装置のユーザ領域内から読み出し、ディスプレイ制御部2005に画像データを引き渡す。ディスプレイ制御部2005は、引き渡された画像を図1の画像表示装置1005の画面に表示する。10006は、取消しキーであり、操作を取消して前の画面に戻る場合に押す。

【0110】図12は、プリント出力操作画面を表しており、図10のプリント出力機能キー9002により画像表示機能が選択された後、OKキー9006を押すことにより呼び出される。

【0111】11001は、プリントする画像データを表す画像ナンバーを入力するエリアである。

【0112】11002は、記憶装置内でユーザが利用できるユーザ領域に格納されている画像データの画像ナンバーをリストとして表示されたものである。

【0113】11003と11004は、画像ナンバーのリストをスクロールするためのスクロールキーである。11002に表示されるリストで、ユーザは選択する画像ナンバーを確認できる。

【0114】11005は、OKキーであり、11001に入力された画像ナンバーを確認して、図13で説明するプリント画面に遷移するために押す。

【0115】11006は、取消しキーであり、操作を取消して前の画面に戻る場合に押す。

【0116】図13はプリント画面を表しており、図12の11005を押すことによって呼び出される。図13は、図4と基本的に同じなので、異なる部分のみを説明する。

【0117】12001は、図4の4018と同じプライベートボックス機能キーであるが、プライベートボッ

クス機能が選択されていることを表すために反転表示になっている。

【0118】12002は、図12の11001で選択された画像ナンバーが表示され、プリントの対象として選択されていることを示す。この状態で、図3のスタートキー409を押すと、イメージサーバ制御部2001の指示により、記憶装置制御部2002は、11001に入力された画像ナンバーに対応する画像データのファイルを、記憶装置のユーザ領域内から読み出し、プリンタ制御部2003に画像データを引き渡す。プリンタ制御部2003は、引き渡された画像を図1のプリント装置1002によってプリント出力する。

【0119】図3のスタートキー409を押す前に、図13の操作画面において、プリント枚数の設定や、拡大、縮小といった画像処理機能を設定することも可能である。

【0120】図14は、スキャナ入力操作画面を表しており、図10のスキャナ入力キー9003によりスキャナ入力機能が選択された後、OKキー9006を押すことにより呼び出される。図14は、図4と基本的に同じであり、異なる部分のみを説明する。

【0121】13001は、図4に示す4018と同じプライベートボックス機能キーであるが、プライベートボックス機能が選択されていることを表すために反転表示になっている。

【0122】13002は、スキャナ入力機能が選択されていることを表すメッセージである。

【0123】13003は、スキャナ入力により画像データがファイルとして、記憶装置のユーザ領域に格納された時、ファイル名として付けられる画像ナンバーを表している。この画像ナンバーは、記憶装置のユーザ領域内において未使用の画像ナンバーのうち、最も小さな値を有する画像ナンバーが割当てられる。ユーザ領域内に画像データが全く無い場合には、画像ナンバーには、1が割当てられる。この状態で、図3の409のスタートキーを押すと、イメージサーバ制御部2001の指示により、スキャナ制御部2004は図1のスキャナ装置1003を駆動して画像データを取り込み、記憶装置制御部2002に引き渡す。記憶装置制御部2002は、13003に表示された画像ナンバーをファイル名としてユーザ領域内に画像データを記憶する。

【0124】図3の409のスタートキーを押す前に、図14の操作画面において、拡大、縮小といった画像処理機能を設定することも可能である。画像データが記憶されたとき、自動転送先アドレスが、後述する自動転送情報ファイル内に記憶されている場合には、図15の画面に操作画面は遷移する。

【0125】図15は、画像データが記憶期限を超過した場合の自動削除前に、ユーザが登録時に決めた転送先に、自動転送を行うか否かを選択する画面である。

【0126】40001は、現在記憶した画像を自動転送の対象とするか否かをユーザに尋ねるメッセージを表示するダイアログボックスである。

【0127】40002は、肯定キーであり、これを押すと、後述する自動転送情報ファイルに、現在の画像データを自動転送の対象とするフラグが設定される。

【0128】40003は、否定キーであり、これを押すと、後述する自動転送情報ファイルに、現在の画像データを自動転送の対象としないことが設定される。

【0129】40002と40003のいずれを押しても、画面は図14に戻る。

【0130】図16は、データ転送操作画面を表しており、図10の9004によりデータ転送機能が選択された後、OKキー9006を押すことにより呼び出される。

【0131】14001は、転送先のアドレス入力エリアであり、図1の操作装置1004の一部であるキーボードを用いて、インターネットアドレスを入力する。

【0132】14002は、転送する画像データの画像ナンバーを入力するエリアである。

【0133】14003は、全データ転送キーであり、記憶装置のユーザ領域内の全画像データを転送対象として一度に選択するときに押す。

【0134】14004は、記憶装置内でユーザが利用できるユーザ領域に格納されている画像データの画像ナンバーをリストとして表示している。

【0135】14005と14006は、画像ナンバーのリストをスクロールするためのスクロールキーである。14004に表示されるリストにより、ユーザは選択する画像ナンバーを確認できる。

【0136】14007は、転送キーであり、これを押すと、イメージサーバ制御部2001の指示により、記憶装置制御部2002は、エリア14002又は全データ転送キー14003で選択された画像ナンバーに画像データをファイルとして読み出し、ネットワーク制御部2007に引き渡す。

【0137】一方、ネットワーク制御部2007は、アドレス入力エリア14001に入力されたアドレスに対して、インターネットを介したアクセスを行い、記憶装置制御部2002から引き渡された画像データをファイルとして転送(FTP)する。

【0138】14008は、取消しキーであり、操作を取消して前の画面に戻る場合に押す。

【0139】図17は、画像データ転送中のデータ転送操作画面を示す。

【0140】15001は、ユーザに転送中であることを伝えるメッセージを表示するダイアログボックスであり、図16の転送キー14007が押されてデータ転送が開始されると、表示される。転送が正常に終了すると、操作画面は図18に遷移し、転送が既定の正常に終

了しない場合は、操作画面は図19に遷移する。

【0141】図18は、画像データ転送が正常に終了すると表示される操作画面を示す。

【0142】16001は、正常な転送終了をユーザに伝えるメッセージを表示するダイアログボックスである。

【0143】16002は、OKキーであり、ユーザがダイアログボックス16001のメッセージを確認した後に押され、操作画面は、図16のデータ転送操作画面に戻る。

【0144】図19は、画像データ転送が正常に終了しなかった場合に示される操作画面を示す。

【0145】17001は、転送が正常に終了しなかったことをユーザに伝えるメッセージを表示するダイアログボックスである。

【0146】17002は、OKキーであり、ユーザがOKキー17002のメッセージを確認した後に押され、操作画面は、図16のデータ転送操作画面に戻る。

【0147】図20はデータ削除操作画面を表しており、図10の9005によりデータ削除機能が選択された後、9006のOKキーを押すことにより呼び出される。

【0148】18001は、削除する画像データの画像ナンバを入力するエリアである。

【0149】18002は、全データ削除キーであり、記憶装置のユーザ領域内の全画像データを削除対象として一度に選択するときを押す。

【0150】18003は、記憶装置内でユーザが利用できるユーザ領域に格納されている画像データの画像ナンバーをリストとして表示したものである。

【0151】18004と18005は、画像ナンバーのリストをスクロールするためのスクロールキーである。18003に表示されるリストにより、ユーザは選択する画像ナンバーを確認できる。

【0152】18006は、削除キーであり、これを押すと、エリア18001で画像ナンバーが指定されている場合は、操作画面は図21に遷移し、全データ削除キー18002で全データ削除が選択されている場合には、操作画面は図22に遷移する。

【0153】18007は、取消しキーであり、操作を取消して前の画面に戻る場合に押す。

【0154】図21は、エリア18001で画像ナンバーが指定された後に、削除キー18006が押された場合に示される削除確認の画面を示す。

【0155】19001は、ユーザにデータ削除の意志があるか否かを確認するメッセージを表示するダイアログボックスである。

【0156】19002は、エリア18001で入力された画像ナンバーが表示される。

【0157】19003は、取消しキーであり、削除を

取消す場合に押して、操作画面は、図20に戻る。

【0158】19004は、削除決定キーであり、これを押すと、イメージサーバ制御部2001の指示によって、記憶装置制御部2002は、エリア18001で入力された画像データを記憶装置のユーザ領域内から削除する。

【0159】図22は、全データ削除キー18002で全画像データ削除が選択された後に、削除キー18006が押された場合に示される削除確認の画面を示す。

10 【0160】20001は、ユーザにデータ削除の意志があるか否かを確認するメッセージを表示するダイアログボックスである。

【0161】20002は、取消しキーであり、削除を取消す場合に押して、操作画面は、図20に戻る。

【0162】20003は、削除決定キーであり、これを押すと、イメージサーバ制御部2001の指示によって、記憶装置制御部2002は、記憶装置のユーザ領域内の全画像データを削除する。

20 【0163】上述した図4から図22においては、図1の操作装置1004のシステム制御部2006を用いたプライベートボックス制御について説明した。

【0164】これに対して、図23以降の図からは、ネットワーク制御部2007と通して、図1のパーソナルコンピュータ1007、携帯情報端末1008、デジタルカメラ1009といったネットワーク端末からのプライベートボックス制御について説明する。

【0165】図23は、ネットワーク端末からブラウザを用いて、イメージサーバのネットワーク制御装置にアクセスした場合に表示されるハイパーテキストで構成された操作画面を示す。

30 【0166】21001は、登録済みユーザが自分のユーザIDを入力するエリアである。

【0167】21002は、新規ユーザが、自分のプライベートボックスを登録するための新規ユーザボタンである。

【0168】エリア21001でユーザIDが入力された場合は、ハイパーテキスト画面は図26へ遷移し、新規ユーザボタン21002が選択された場合は、ハイパーテキスト画面は図24へ遷移する。

40 【0169】図24は、新規ユーザがネットワーク端末から自分のプライベートボックスを登録するためのハイパーテキスト画面を表しており、前述したシステム制御部2006の図6の画面に相当している。

【0170】22001は、ユーザに自動的に発行されたユーザIDを表示するエリアである。

【0171】22002は、図23の新規ユーザボタン21002と同じだが、選択されていることを表すために反転表示される。

50 【0172】22003は、ユーザが自分のプライベートボックスに設定するパスワードを入力するエリアであ

る。パスワードが入力されると、ハイパーテキスト操作画面は、図25のパスワード確認画面に遷移する。

【0173】22004は、メールアドレス入力エリアであり、メールによる通知を希望するユーザは、メールアドレスを入力することができる。

【0174】22005は、転送先アドレス入力エリアであり、記憶期限を超過した画像データが削除される前に自動転送を希望するユーザは、転送先アドレスを入力することができる。

【0175】図25は、図24のエリア22003で設定されたパスワードを確認する画面を示す。

【0176】23001は、パスワードの再入力エリアであり、ユーザがエリア22003と同じパスワードを入力することにより、パスワードが確定され、ハイパーテキスト操作画面は、図27の機能選択画面に遷移する。

【0177】図26は、図23のエリア21001にユーザIDが入力された場合に、登録済みユーザがパスワードを入力する画面であり、前述したシステム制御部2006の図9の画面に相当している。

【0178】24001は、パスワード入力エリアであり、入力されたパスワードがユーザIDに対応した登録済みのパスワードと等しければ、ユーザの正当性が確認され、ハイパーテキスト操作画面は、図27の機能選択画面に遷移する。

【0179】図27は、ネットワーク端末からプライベートボックスに対して行う機能を選択する画面である。

【0180】25001は、データ転送機能のハイパーテキスト画面にリンクしているアンカータグであり、これを選択することにより、ハイパーテキスト画面は、図28に遷移する。

【0181】25002は、データ削除機能のハイパーテキスト画面にリンクしているアンカータグであり、これを選択することにより、ハイパーテキスト画面は、図32へ遷移する。

【0182】図28は、データ転送機能进行操作する画面である。

【0183】26001は、転送する画像データファイルを指定するファイル名の入力エリアである。

【0184】26002は、現在記憶した画像を自動転送の対象とするか否かをユーザに尋ねるメッセージである。

【0185】26003は、肯定キーであり、これを押すと、後述する自動転送情報ファイルに、これから転送する画像データを自動転送の対象とするフラグが設定される。

【0186】26004は、否定キーであり、これを押すと、後述する自動転送情報ファイルに、これから転送する画像データを自動転送の対象としないことが設定される。

【0187】26005は、転送開始キーであり、これを押すと、画面は図29に遷移し、ネットワーク端末は、入力エリア26001で指定された画像データを、イメージサーバへファイル転送する。後述する自動転送情報ファイルに転送先アドレスが設定されていないユーザの場合、メッセージ26002、肯定キー26003、否定キー26004は、表示されない。

【0188】図29は、データの転送中を表す画面である。

【0189】27001は、画像データがイメージサーバへファイル転送中であることをユーザに伝えるメッセージである。

【0190】転送が正常に終了すると、画面は図30に遷移し、転送が正常に終了しなかった場合は、画面は図31に遷移する。

【0191】図30は、データ転送の正常終了を表す画面を示す。

【0192】28001は、転送の正常終了をユーザに伝えるメッセージである。

【0193】28002は、転送されたデータに割り当てられた画像番号を表示する。このとき、イメージサーバ制御部2001の指示によって、ネットワーク制御部2007からデータを受け取った記憶装置制御部2002は、記憶装置内のプライベートボックスに対応したユーザ領域に記憶する画像データに割り振る画像番号のうち、未使用かつ最小の値を持つ画像番号を自動的に割り当てる。

【0194】図31は、データ転送が正常に終了しなかったことを表す画面である。

【0195】29001は、転送が正常に終了しなかったことをユーザに伝えるメッセージである。

【0196】図32は、データ削除機能进行操作する画面であり、図27のアンカータグ25002が選択されたときに表示される。この画面は、前述したシステム制御部2006の図20の画面に相当している。

【0197】30001は、削除する画像データの画像番号を入力するエリアである。

【0198】30002は、全データの一括削除を選択する時に選択するボタンである。

【0199】30003は、現在、プライベートボックスに対応したユーザ領域内に記憶されている画像データの画像番号のリストを表示する。エリア30001で画像番号が指定された場合は、画面は図33に遷移し、ボタン30002で全データ削除が選択された場合は、画面は図34に遷移する。

【0200】図33は、エリア30001で指定された画像番号の画像データを削除する意志がユーザに本当にあるのか否かを確認する画面である。

【0201】31001は、ユーザに本当に指定された画像番号の画像を削除するのか確認するメッセージ

である。

【0202】31002は、削除ボタンであり、選択されると、画面は図35に遷移する。

【0203】31003は、取消しボタンであり、選択されると、画面は図32に戻り、画像データの削除は実行されない。

【0204】図34は、ボタン30002で選択された全データ削除の意志がユーザに本当にあるのか否かを確認する画面である。

【0205】32001は、ユーザに本当に全画像データを削除するのか確認するメッセージである。

【0206】32002は、削除ボタンであり、選択されると、画面は図36に遷移する。

【0207】32003は、取消しボタンであり、選択されると、画面は図32に戻り、画像データの削除は実行されない。

【0208】図35は、エリア30001で指定された画像ナンバーに対応する画像データの削除完了を表す画面である。

【0209】33001は、指定された画像ナンバーの削除の完了をユーザに伝えるメッセージである。このとき、イメージサーバの指示により、記憶装置制御部2002は、ネットワーク制御部2007から指定された画像ナンバーに対応する画像データをユーザ領域内から削除する。

【0210】図36は、ボタン30002で選択された全画像データ削除の完了を表す画面を示す。

【0211】34001は、プライベートボックスに対応したユーザ領域内の全画像データの削除の完了をユーザに伝えるメッセージである。このとき、イメージサーバの指示により、記憶装置制御部2002は、ネットワーク制御部2007から指定された通りに、画像データをユーザ領域内から削除する。

【0212】上述した図23から図36で示したように、ネットワーク端末からブラウザを用いた操作により、ネットワーク端末から、プライベートボックスの登録と、イメージサーバへの画像データの転送、画像データの削除が可能となる。

【0213】図37は、前述した記憶装置内のプライベートボックスに対応したユーザ領域を概念的に示す。図37全体は、1つのユーザ領域を表現している。ユーザ領域は、各ユーザのプライベートボックスに一対一に対応した、記憶装置内の論理領域であり、いわゆるファイルシステムにおけるディレクトリで構成される。

【0214】35001は、ディレクトリ名であり、ユーザIDが、そのままディレクトリ名になっている。システム制御部2006やネットワーク端末の操作画面からは、ユーザ領域であるディレクトリ以外のディレクトリへのアクセスは、制限されており、他ユーザのユーザ領域であるディレクトリへのアクセスは行うことがで

きない。また、各ユーザ領域内のファイルも同様に、他ユーザのファイルには、アクセスができないように制限が行われる。

【0215】35002は、パスワードファイルであり、システム制御部2006又はネットワーク端末から登録されたユーザのパスワードがファイルとして記憶される。

【0216】35003と35004は、それぞれ画像データファイルである。各画像データファイルは、35005の画像ナンバーをファイル名として有している。

【0217】また、画像データファイルの属性として、35006のファイルデータサイズ、35007の画像データファイルの更新日時を有している。各画像データファイルのファイル名である画像ナンバーは、前述のように画像データの操作に利用される。また、各ユーザ領域であるディレクトリのディレクトリ名は、ユーザIDの値になっており、ユーザ領域の操作に利用される。

【0218】35008は、メールアドレスファイルであり、前述したようにシステム制御部2006又はネットワーク端末から、ユーザ領域登録時に、メールアドレスを入力された場合にメールアドレスを記憶する。メールアドレスが入力されなかった場合、メールアドレスファイル35008は、空データとなる。

【0219】35009は、自動転送情報ファイルであり、転送先アドレスや画像データ毎の転送要求の有無を記憶する。35009については、図38で詳述する。

【0220】図38は、自動転送情報ファイルを示す。

【0221】41001は、転送先アドレスの記憶部であり、前述したようにシステム制御部2006又はネットワーク端末から、ユーザ領域登録時に、転送先アドレスを入力された場合に転送先アドレスを記憶する。転送先アドレスを入力されなかった場合には、記憶部41001は空データとなる。

【0222】記憶部41001が空データの場合には、自動転送を要求しないユーザと判断され、前述したようにシステム制御部2006やネットワーク端末の操作画面には、画像データ無に転送するか否かを尋ねる機能は、表示されなくなる。

【0223】41002は、画像ナンバーの記憶部であり、41003は、画像ナンバーの転送要求の有無のフラグ記憶部である。

【0224】記憶部41002と41003は、それぞれ対になって記憶される。前述したようにシステム制御部2006又はネットワーク端末から、画像データ記憶時に、自動転送が要求されると、記憶部41002には画像ナンバーが設定され、記憶部41003には転送要求を表す1のフラグが設定される。画像データ記憶時に、自動転送が要求されないと、記憶部41002には画像ナンバーが設定され、記憶部41003には転送要求無しを表す0が設定される。

【0225】以上が、本システムの基本的な機能について説明したものである。

【0226】(具体例)次に、本システムの制御を、具体例を挙げて説明する。

【0227】今、ユーザが画像データをプライベートボックスに転送したいときに、外部のネットワーク端末からの要求により、自動的にプライベートボックスを確保することができれば、前述した問題点を解消することが可能となる。これにより、プリントサービスショップやコンビニエンスストア等に設置されたイメージサーバ上に、ネットワーク経由で自由にプライベートボックスを獲得し、画像データを転送してから、イメージサーバに接続されたプリント装置で、他人に見られることなく画像のハードコピーを得ることも可能となる。

【0228】また、デジタルカメラを多数の人が使用するイベント会場や、観光地において、会場のブースや駅等の人が集まる場所に設置されたイメージサーバに、自由にプライベートボックスを設置して、デジタルカメラの画像データをプライベートボックス内に一時蓄積してから、プリントしたり、別のネットワーク端末にまとめて転送するといった新しいサービスも可能となる。

【0229】一方、プライベートボックス(ユーザ領域)を一時的に登録できるようにすると、記憶装置の記憶限界を超える可能性があるため、一定期限以上放置された画像データは、自動的に削除し、また、画像データが格納されなくなったプライベートボックスは、自動的に削除することにより、記憶装置の自動管理をしたいという要求がある。このとき、ユーザのメールアドレスをユーザ領域単位で記憶することにより、データの削除の前にユーザにアドバイスを与えたり、データの削除やユーザ領域の削除が行われたことを通告できるようにしたいという要求もある。

【0230】また、不注意により、一定期限以上放置された画像データは、一時的に削除するのではなく、転送先アドレスをユーザ領域単位で記憶することにより、削除前に自動的に転送先にデータを転送して待避してから、削除したいという要求もある。

【0231】これは、出先でデジタルカメラの画像データをプライベートボックスに転送した後、何らかの事情で、イメージサーバのある場所を訪れることができないまま、記憶期限が過ぎた場合、自分が保有するパソコンやワークステーションに画像データを持運させたいときに、特に有効な技術となるものである。

【0232】(管理制御処理)このような背景に基づいて、本システムの管理制御例をフローチャートに基づいて説明する。

【0233】図39は、各ユーザ領域の管理を行う制御ルーチンを示す。この制御ルーチンは、イメージサーバ制御部2001において実行される。

【0234】前述した操作画面の例のようにシステム制

御部2006又はネットワーク制御部2007を通してユーザからのアクセスが行われると、イメージサーバ制御部2001は、図39の制御ルーチンを実行する。

【0235】ステップS36001において、ユーザが新規ユーザか否かが判定され、新規ユーザならステップS36002へ、登録済みユーザならステップS36004へ進む。

【0236】ステップS36002において、イメージサーバ制御部2001は、記憶装置制御部2002に記憶装置内のユーザディレクトリの検索、操作を行わせ、空いているユーザIDの内、最も小さな非負の値を新規ユーザIDとして獲得し、ユーザIDをディレクトリ名として持つディレクトリをユーザ領域として記憶装置内に獲得する。

【0237】次に、ステップS36003において、操作画面から入力されたパスワードをユーザ領域内のパスワードファイルとして格納する。ステップS36008において、操作画面からメールアドレスが入力されたか否かが判定される。メールアドレスが入力された場合は、ステップS36009へ、そうでなければ、ステップS36010へ進む。

【0238】ステップS36009において、入力されたメールアドレスは、ユーザ領域内のメールアドレスファイルに記憶される。

【0239】ステップS36010において、操作画面から転送先アドレスが入力されたか否かが判定される。転送先アドレスが入力された場合は、ステップS36011へ、そうでない場合は、ステップS36006へ進む。

【0240】ステップS36011において、入力された転送先アドレスは、ユーザ領域内の自動転送情報ファイルの転送先アドレス記憶部に記憶される。

【0241】ステップS36004において、操作画面から入力されたユーザIDとパスワードを受け取ったイメージサーバ制御部2001は、記憶装置制御部2002に対して、入力されたユーザIDに対応するディレクトリの検索と、ディレクトリ内のパスワードファイルのチェックを指示する。

【0242】ステップS36005において、ユーザIDとパスワードの正当性の判定が行われ、ユーザIDに対応したディレクトリが存在し、かつ、そのディレクトリ内のパスワードファイルと入力されたパスワードが一致した場合のみ、ステップS36006に進み、そうでなければ、ステップS36007に進み、制御ルーチンを抜ける。

【0243】ステップS36006において、操作画面からアクセスする対象ディレクトリが、ユーザIDに対応したディレクトリとなり、ユーザは各画像データの画像処理を行うことが可能となる。

【0244】また、画像データを記憶装置に記憶する場

合は、画像データサイズに応じたデータファイルとして、図37で説明したように、ユーザ領域内に格納される。ユーザが画像処理を終了してアクセスを終えると、ステップS36007に進み、制御ルーチンを抜ける。

【0245】この制御によって、ユーザIDの割当てとパスワードの設定が自動的に行われるようになり、ブレイバートボックスの自動獲得が可能となる。また、メールアドレスと転送先アドレスをユーザ毎に記憶することが可能となる。

【0246】図40は、画像データの放置を防ぐために、イメージサーバ制御部2001が、記憶装置制御部2002に定期的に行きわたるタイムアウトチェックルーチンを示す。

【0247】このタイムアウトチェックルーチンは、例えば1日置きである既定の間隔で、イメージサーバ制御部2001の指示により、記憶装置制御部2002において、自動的に実行される。

【0248】ステップS37001において、最も小さな値のユーザIDに対応するユーザ領域内において、最も小さな値の画像ナンバーの画像データファイルの更新日時を読み込む。ステップS37002において、例えば7日である既定の記憶期限と画像データファイルの更新日時を比較して、画像データが、既定の記憶期限より長い時間記憶されている場合は、ステップS37003に進み、そうでなければ、ステップS37006へ進む。

【0249】ステップS37003において、現在のユーザ領域内の自動転送信託ファイルが検索され、現在の画像データに転送要求が有るか否かが判定される。転送要求があるならステップS37004に進み、転送要求が無いならステップS37005へ進む。

【0250】ステップS37004において、現在の対象の画像ナンバーと転送先アドレスは、記憶装置制御部2002内のメモリ内の転送リストにリストアップされる。ステップS37005において、現在の対象の画像ナンバーとメールアドレスと転送要求の有無は、記憶装置制御部2002内のメモリ内の削除リストにリストアップされる。

【0251】ステップS37006において、例えば、7日間である記憶期限より1日短い6日間である、メール通告期限より長い時間、画像データが記憶されているか否かが判定される。メール通告期限より記憶時間が長い場合は、ステップS37007に進み、そうでない場合にはステップS37008に進む。

【0252】ステップS37007において、現在の対象の画像ナンバーとメールアドレスと転送要求の有無が、記憶装置制御部2002内のメモリ内の通告リストにリストアップされる。

【0253】ステップS37008において、次の画像データファイルの存在判定が行われ、現在の対象より大きな画像ナンバーの画像ファイルがある場合は、現在の

対象の画像ナンバーに最も近い、より大きな画像ナンバーの画像ファイルが次の対象画像ナンバーとなり、ステップS37009へ進む。

【0254】現在の対象より大きな画像ナンバーの画像ファイルがなく、現在の対象ディレクトリより大きなユーザIDのディレクトリがある場合は、そのディレクトリ内で最も小さな非負の画像ナンバーが次の画像ナンバーとなり、ステップS37009へ進む。

【0255】現在の対象より大きな画像ナンバーの画像ファイルがなく、かつ現在の対象ディレクトリより大きなユーザIDのディレクトリも無い場合は、最後の画像データのチェックが終了したと判定され、ステップS37010へ進む。

【0256】ステップS37009において、次の画像データの更新日時が読み込まれ、ステップS37002へ戻る。

【0257】ステップS37010において、記憶装置制御部2002内のメモリ内の通告リスト内の画像ナンバーとメールアドレスと転送要求の有無から、ユーザに一定時間後に画像データが削除される通告のメールがネットワーク制御部2007によって出される。

【0258】転送要求が無い場合には、図41に例示するようなメッセージがメールとして送られ、転送要求が有る場合には、図42に例示するようなメッセージがメールとして送られる。メールのメッセージ内の画像ナンバーは、通告リストの情報から、ネットワーク制御部2007が、文字コードに変換して付加している。

【0259】ステップS37011において、記憶装置制御部2002内のメモリ内の転送リスト内の画像ナンバーと転送先アドレスから、画像データの自動転送がネットワーク制御部2007によって実行される。このとき、転送が成功したか否かの情報が、記憶装置制御部2002内のメモリ内の転送リスト内の削除リストに追加される。

【0260】ステップS37012において、記憶装置制御部2002内のメモリ内の削除リスト内の画像ナンバー、メールアドレス、転送要求の有無、転送の成否から、画像データの自動削除と、ネットワーク制御部2007による削除情報通告のメール送信が実行される。

【0261】転送要求が無かった場合には、図43に例示したようなメッセージがメールとして送られる。転送要求が有り、転送が成功した場合には、図44に例示したようなメッセージがメールとして送られる。転送要求が有り、転送が不成功だった場合には、図45に例示したようなメッセージがメールとして送られる。メールのメッセージ内の画像ナンバーは、削除リストの情報から、ネットワーク制御部2007が、文字コードに変換して付加している。ステップS37012の処理が終わると、ステップS37013へ進む、タイムアウトチェックルーチンを抜ける。

【0262】このタイムアウトチェックルーチンにより、放置画像データを自動的に削除することが可能となり、記憶装置の空き容量を管理することが可能となる。また、放置画像データb自動削除前にメールでユーザにアドバイスを送ることが可能となる。また、放置画像データの削除前に、ユーザが決めた転送先に画像データを自動転送することが可能となる。また、画像データの削除、転送の成功、転送の不正の情報をユーザにメールとして自動的に通告することが可能となる。

【0263】図46は、不要になったユーザ領域を自動的に抹消するために、イメージサーバ制御部2001が、記憶装置制御部2002に定期的に行わせるユーザ領域チェックルーチンを示す。

【0264】このユーザ領域チェックルーチンは、例えば、1日置きである既定の間隔で、イメージサーバ制御部2001の指示により、記憶装置制御部2002において、図40で前述したタイムアウトチェックルーチンの終了した後に、自動的に実行される。

【0265】ステップS38001において、最も小さな非負のユーザIDに対応したディレクトリが、チェックの対象となる。

【0266】ステップS38002において、対象のディレクトリ内に画像データファイル存在するかが判定され、画像データが存在するか、ユーザがディレクトリにアクセス中なら、ステップS38006に進み、画像データが存在せず、かつユーザがアクセスしていないなら、ステップS38003に進む。

【0267】ステップS38003において、ユーザ領域内のメールアドレスファイルに記憶されているデータが空データか否かが判定される。空データならメール転送を希望していないと判定され、ステップS38005へ進み、空データでないならメール転送を希望していると判定され、ステップS38004へ進む。

【0268】ステップS38004において、ユーザ領域内のメールアドレスファイルに記憶されているメールアドレスに対して、ユーザ領域が削除されることを通知するメールが、ネットワーク制御部2007によって送信される。

【0269】図47は、ユーザ領域削除のメールのメッセージを例示する。

【0270】ステップS38005において、画像データが存在せず、かつ、ユーザがアクセスしていないディレクトリは、不要ユーザ領域として削除され、ユーザIDは解放される。

【0271】ステップS38006において、記憶装置内に、現在の対象ディレクトリが有するユーザIDの値より大きな値のユーザIDを有するディレクトリが存在するかが判定され、存在するなら現在のユーザIDに最も近いより大きなユーザIDを次のユーザIDとしてステップS38007へ進み、存在しないなら最後の

ユーザIDのディレクトリのチェックが終了したのでステップS38008に進み、ユーザ領域チェックルーチンを抜ける。

【0272】ステップS38007において、次のユーザIDに対応するディレクトリを対象のディレクトリとして、ステップS38002に戻る。

【0273】このユーザ領域チェックルーチンにより、不要ユーザ領域を自動的に削除して、ユーザIDを管理することが可能となる。また、メール通告を希望するユーザに対して、ユーザ領域自動削除の情報をメールで自動通告することが可能となる。

【0274】以上の説明から、本システムの制御による利点について列挙しておく。

【0275】(1) 画像処理システムにおいて、管理者の介在無しに、システム制御部もしくはネットワーク端末からプライベートボックスを獲得できるようになる。

【0276】(2) プライベートボックス内の画像データの記憶時間による管理と不要になったプライベートボックスの自動削除が可能となる。

【0277】(3) ネットワークを経由して画像を転送したり、スキャナからデータを取込むことで、プライベートボックスに画像データを蓄積することが可能となる。

【0278】(4) プライベートボックス内の画像データの記憶時間が既定時間を越える前に、メールを使ってユーザにアドバイスを自動的に与えることが可能となる。

【0279】(5) プライベートボックス内の画像データの記憶時間が既定の時間を越え、削除される時に、ユーザが予め登録した転送先に画像データを自動的に転送してから削除することが可能となる。

【0280】(6) プライベートボックス内の画像データの記憶時間が既定の時間を越えて、削除されたり、転送されたことや、プライベートボックスが自動削除されたことをメールを使って、ユーザに自動通告できるようにすることが可能となる。

【0281】(7) プライベートボックスに画像データを蓄積した後、この画像データを、プリント装置に接続した操作装置からプリントしたり、表示装置に表示したり、プライベートボックス内の画像データをネットワークを経由して転送したりすることが可能となる。

【0282】なお、本発明は、複数の機器（例えば、ホストコンピュータ、インターフェース機器、リーダー、プリンタなど）から構成されるシステムに適用しても、1つの機器（例えば、複写機、ファクシミリ装置）からなる装置に適用してもよい。

【0283】また、本発明は、システム或いは装置にプログラムを供給することによって達成される場合にも適用できることはいうまでもない。そして、本発明を達成するためのソフトウェアによって表されるプログラムを

格納した記憶媒体を、システム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ（又はCPUやMPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読出し実行することによっても、本発明の効果を享受することが可能となる。

【0284】この場合、記憶媒体から読出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。

【0285】プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、例えば、フロッピディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROM（マスクROM、フラッシュEEPROMなど）などを用いることができる。

【0286】また、コンピュータが読出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼動しているOS（オペレーティングシステム）などが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0287】さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0288】また、出力装置としては、電子写真式のプリンタに限定されるものではなく、インクジェット方式のプリンタでもよい。また、プリンタの光源としては、レーザ光源の他に、LEDを用いた方式にも適用できる。

【0289】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、サーバ本体内の記憶装置に自動的にプライベートボックスを登録発行し、ユーザがネットワークを介して利用できるようにしたので、管理者の業務の省力化を図ることが可能な画像処理装置ならびにシステムを構築できる。

【0290】また、本発明によれば、既定の時間以上放置された画像データは自動削除するが、希望するユーザには、予め削除を行う前に自動メールでアドバイスをを行い、削除前にユーザが登録時に設定した転送先に画像データを自動転送するようにしたので、管理者の業務を軽減することができる。

【0291】さらに、本発明によれば、不要になったプライベートボックスを自動抹消することにより記憶装置の自動管理を行うが、希望するユーザには、削除したこ

とをメールで自動通告するようにしたので、管理者の業務を一段と軽減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態であるシステム構成を示すブロック図である。

【図2】システムの制御系を示すブロック図である。

【図3】操作部の構成を示す正面図である。

【図4】タッチパネル画面を示す正面図である。

【図5】プライベートボックスを登録またはアクセスするためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図6】プライベートボックスを登録またはアクセスするためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図7】転送先アドレス入力のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図8】プライベートボックスを登録またはアクセスするためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図9】プライベートボックスを登録またはアクセスするためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図10】機能選択のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図11】画像表示のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図12】画像プリントのためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図13】画像プリントのためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図14】画像のスキャナ取り込みのためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図15】自動転送要求のタッチパネル画面を示す説明図である。

【図16】画像転送のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図17】画像転送のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図18】画像転送のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図19】画像転送のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図20】画像削除のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図21】画像削除のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図22】画像削除のためのタッチパネル画面を示す説明図である。

【図23】プライベートボックスを登録またはアクセスするためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図24】プライベートボックスを登録またはアクセスするためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図25】プライベートボックスを登録またはアクセスするためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図26】プライベートボックスを登録またはアクセスするためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図27】機能選択のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図28】画像転送のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図29】画像転送のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図30】画像転送のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図31】画像転送のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図32】画像削除のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図33】画像削除のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図34】画像削除のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図35】画像削除のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図36】画像削除のためのブラウザ画面を示す説明図である。

【図37】ユーザ領域（プライベートボックス）を示す説明図である。

【図38】自動転送情報ファイルを示す説明図である。

【図39】ユーザ領域の制御処理を示すフローチャートである。

【図40】タイムアウトチェックの制御処理を示すフローチャートである。

【図41】ユーザに送られるメールメッセージ例を示す

説明図である。

【図42】ユーザに送られるメールメッセージ例を示す説明図である。

【図43】ユーザに送られるメールメッセージ例を示す説明図である。

【図44】ユーザに送られるメールメッセージ例を示す説明図である。

【図45】ユーザに送られるメールメッセージ例を示す説明図である。

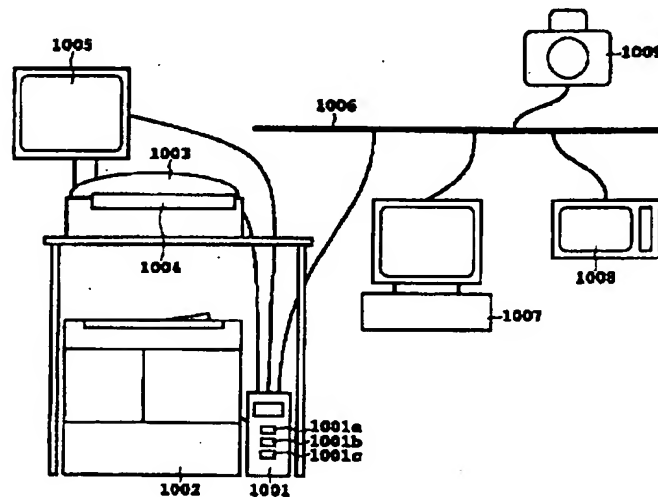
10 【図46】ユーザ領域チェックの制御処理を示すフローチャートである。

【図47】ユーザに送られるメールメッセージ例を示す説明図である。

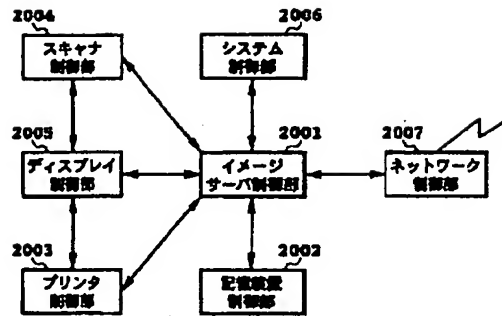
【符号の説明】

- 1001 サーバ本体
- 1002 デジタルカラープリンタ
- 1003 フラットベッドスキャナ
- 1004 操作装置
- 1005 表示装置
- 20 1006 ネットワークケーブル
- 1007 ネットワーク端末
- 1008 携帯情報端末
- 1009 デジタルカメラ
- 2001 イメージサーバ制御部
- 2002 記憶装置制御部
- 2003 プリンタ制御部
- 2004 スキャナ制御部
- 2005 ディスプレイ制御部
- 2006 システム制御部
- 30 2007 ネットワーク制御部

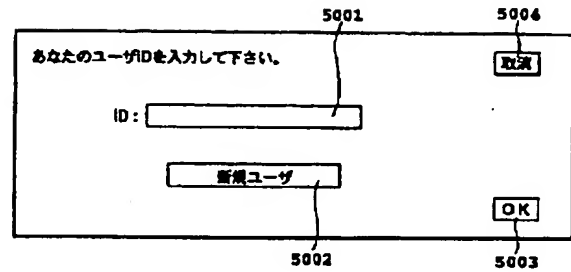
【図1】



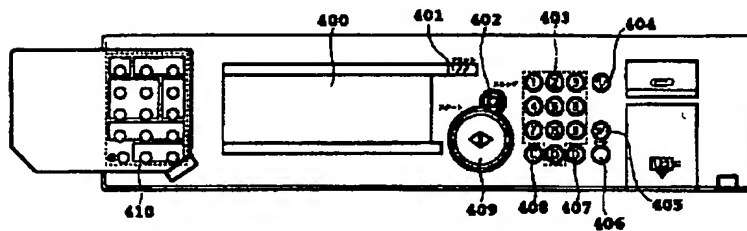
【図2】



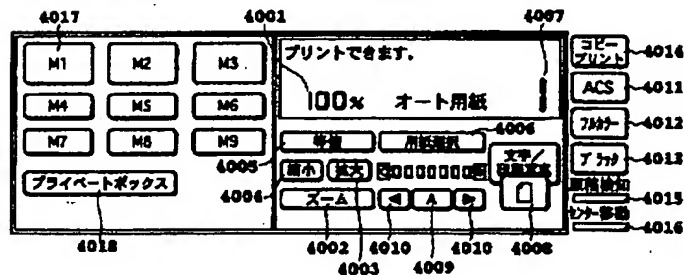
【図5】



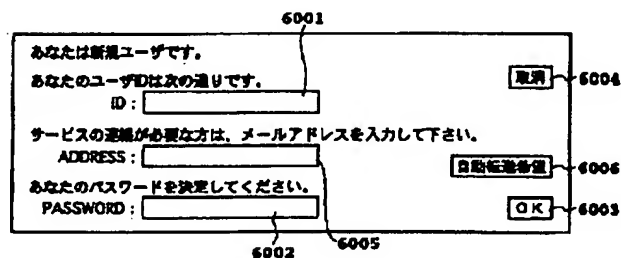
【図3】



【図4】



【図6】



【図7】

あなたは新規ユーザです。
あなたの自動転送機能を希望する方は、転送先のアドレスを入力して下さい。

サービス
ADD
あなたの
PASSW

FTP ADDRESS :
[]

[OK] [OK]

39001 39002 39003

【図23】

ようこそイメージサーバへ！！
あなたのユーザIDを入力して下さい。

ID : [] 21001

[新規ユーザ] 21002

【図8】

あなたは新規ユーザです。
あなたのパスワードをもう一度入力してください。

サービス
ADD
あなたの
PASSW

PASSWORD : []

[OK] [OK]

7003 7001 7002

【図25】

ようこそイメージサーバへ！！
あなたは新規ユーザです。
あなたのユーザIDは下記の通りです。

ID : []

サービスの連絡が必要な方は、メールアドレスを入力して下さい。

MAIL ADDRESS : []

自動転送機能を希望する方は、転送先のアドレスを入力して下さい。

FTP ADDRESS : []

あなたのパスワードをもう一度入力して下さい。

PASSWORD : []

23001

【図9】

あなたのパスワードを入力して下さい。

PASSWORD : []

[OK] [OK]

8001 8002 8003

【図10】

機能を選択して下さい。

9001 [画像表示] [データ転送] 9004 [OK] 9007

9002 [プリント出力]

9003 [スキャナ入力] [データ削除] 9005 [OK] 9006

【図11】

ディスプレイに表示する画像を選択して下さい。
 画像ナンバを選択して下さい。
 No.: を表示します。
 画像ナンバー

10001 10003 10002 10004

10006 10005

【図27】

ようこそイメージサーバへ！！

機能を選択して下さい。

データ転送 25001 データ削除 25002

【図12】

プリント出力する画像を選択します。
 画像ナンバを選択して下さい。
 No.: をプリントします。
 画像ナンバー

11001 11003 11002 11004

11006 11005

【図29】

ようこそイメージサーバへ！！

機能を選択して下さい。

データ転送

転送するファイルを指定して下さい。

ファイル名:

転送しています。

27001

【図13】

12001

M1 M2 M3
M4 M5 M6
M7 M8 M9

12002 画像ナンバをプリントします?
100% オート用紙

等倍 用紙選択 文字/図形
縮小 拡大 8000000000
ズーム ◀ ▶

12001

コピー
プリント
ACS
7447
7447
7447
7447
7447

【図14】

13002 13003

M1 M2 M3
M4 M5 M6
M7 M8 M9

13001 画像をスキャンします。
100% 画像ナンバ: 17

等倍 用紙選択 文字/図形
縮小 拡大 8000000000
ズーム ◀ ▶

13001

コピー
プリント
ACS
7447
7447
7447
7447
7447

【図15】

40001

画像ナンバ: 17のデータを自動転送の対象としますか?
自動転送を設定すると7日間の配信期限を超過して、
自動削除される時に、データを転送先に自動転送します。

YES NO

40002 40003

コピー
プリント
ACS
リカ
アタ
原稿検索
リカ
リカ

【図30】

ようこそイメージサーバへ！！

機能を選択して下さい。

データ転送

転送するファイルを選択して下さい。

ファイル名:

転送は終了しました。
転送したファイルの画像ナンバは、
18
になりました。

20002 20001

【図16】

14001

データの転送先を設定して下さい。

転送する画像ナンバを選択して下さい。

No.: 画像ナンバー一覧

全データ 1 2 3 4 5 6 7 8

9 10 11 12 13 14 15 16

14003 14002 14005 14004 14006

取消 14008
転送 14007

【図17】

15001

データの転送先を設定して下さい。

転送しています。
しばらくお待ち下さい。

転送する画像
No.:

全データ

8 9 10 11 12 13 14 15 16

取消
転送

【図24】

ようこそイメージサーバへ！！

あなたは新規ユーザです。
あなたのユーザIDは下記の通りです。

ID:

サービスの連絡が必要な方は、
メールアドレスを入力して下さい。

MAIL ADDRESS:

自動転送機能を希望する方は、転送先の
アドレスを入力して下さい。

FTP ADDRESS:

あなたのパスワードを決定して下さい。

PASSWORD:

22001
22002
22004
22005
22003

【図18】

16001

データの転送先を設定して下さい。

画像データの転送は終了しました。

OK

転送する画像
No.:

全データ

8 9 10 11 12 13 14 15 16

取消
転送

16002

【図19】

データの転送先を確認して下さい

画像データの転送は実行できませんでした。
転送先がネットワークに接続されていないか、
転送先のメモリ容量が足りません。

転送する画像
No.:

17001
17002

【図20】

データを削除する画像を選択します。

画像ナンバを選択して下さい。

No.: 画像ナンバー一覧

1 2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15 16

18002 18001 18004 18003 18005

18007
18006

【図21】

データを削除する
画像ナンバを選択

No.: 画像ナンバ

を本当に削除しますか?

19002 19001

19003 19004

【図22】

データを削除する
画像ナンバを選択

No.: 画像ナンバ

あなたの全画像データ
を本当に削除しますか?

20001

20002 20003

【図31】

ようこそイメージサーバへ！！

機能を選択して下さい。

データ転送

転送するファイルを設定して下さい。

ファイル名:

転送出来ませんでした。
操作をやり直して下さい。

29001

【図26】

ようこそイメージサーバへ！！

あなたのユーザIDを入力して下さい。

ID:

あなたのパスワードを入力して下さい。

PASSWORD:

24001

【例 3 2】

ようこそイメージサーバへ！！

画像を選択して下さい。

データ削除

削除する画像ナンバを指定して下さい。

No. :

全データ

画像ナンバー一覧

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
33 34

30002

30001

30003

【图 3 4】

ようこそイメージサーバへ！

指定を選択して下さい。

データ削除

削除する画像ナンバを指定して下さい。

No. : XXXXXXXXXX

本当にNo. __を削除しますか？

32001
32003
32002

画像ナンバ一覧

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
33 34

【図35】

ようこそイメージサーバへ！！

機能を選択して下さい。

データ削除

削除する画像ナンバを指定して下さい。

No. :

33001 No. を削除しました。

画像ナンバー一覧

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
33	34														

【図36】

ようこそイメージサーバへ！！

機能を選択して下さい。

データ削除

削除する画像ナンバを指定して下さい。

No. :

34001 全データを削除しました。

画像ナンバー一覧

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
33	34														

【図37】

35001 ユーザID(ディレクトリ名) ユーザ領域(ディレクトリ)

35002 パスワードファイル

35008 メールアドレスファイル

35009 自動転送情報ファイル

35005 画像ナンバ(ファイル名) 画像ナンバ(ファイル名)

35006 データサイズ データサイズ

35007 更新日時 更新日時

画像データファイル 画像データファイル

35003 35004

【図38】

自動転送情報ファイル

転送先アドレス	
xxxx/xxxx/xxxx	
画像ナンバー	転送フラグ
1	1
2	1
3	1
4	0
5	0
6	0
7	1
8	1
9	0
10	0

41002 0: 自動転送不要
1: 自動転送必須

【図41】

Subject : Warning from Image Server
to : xxxx@xxxxx
from : image-server@xxxxx

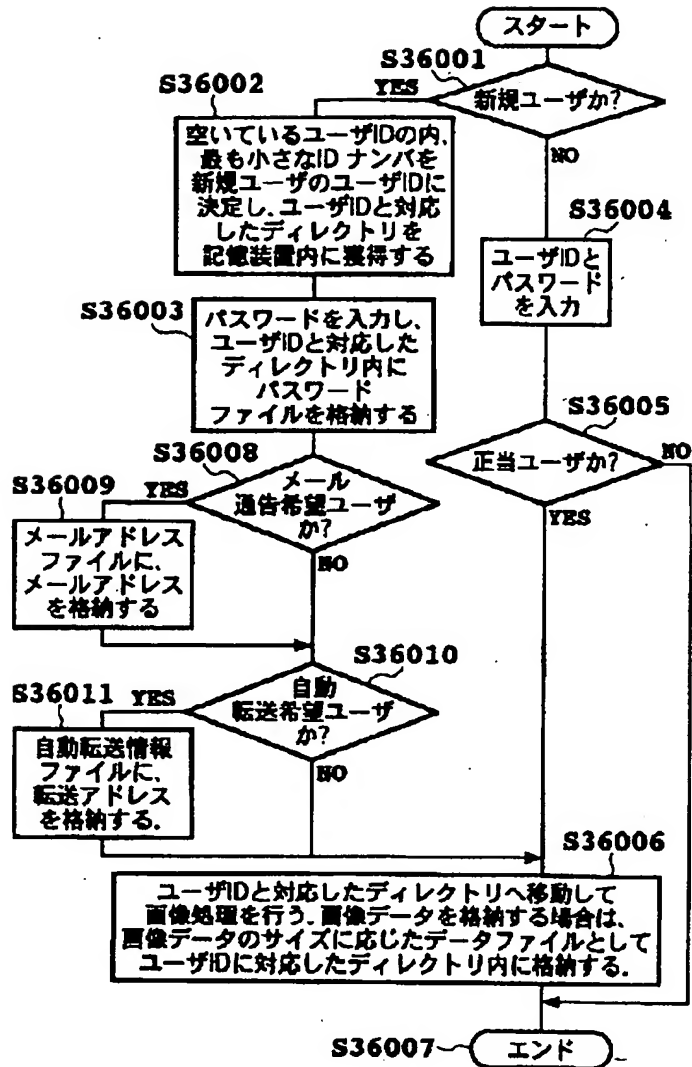
イメージサーバからのお知らせです。
以下の画像ナンバの画像データは、後1日で、記憶期間の7日間を超過します。
記憶期間を超過した画像データは、自動削除されます。
対象画像ナンバ:
1 2 3 7 8

【図43】

Subject : Warning from Image Server
to : xxxx@xxxxx
from : image-server@xxxxx

イメージサーバからのお知らせです。
以下の画像ナンバの画像データは、記憶期間の7日間を超過したので、自動削除しました。
対象画像ナンバ:
1 2 3 7 8

【図39】



【図44】

Subject : Warning from Image Server
to : xxx@xxxx
from : image-server@xxxx

イメージサーバからのお知らせです。
以下の画像ナンバの画像データは、
記憶期限の7日間を経過したので、転送先に転送した後、
自動削除しました。

対象画像ナンバ：
4 5 6 9 10

【図47】

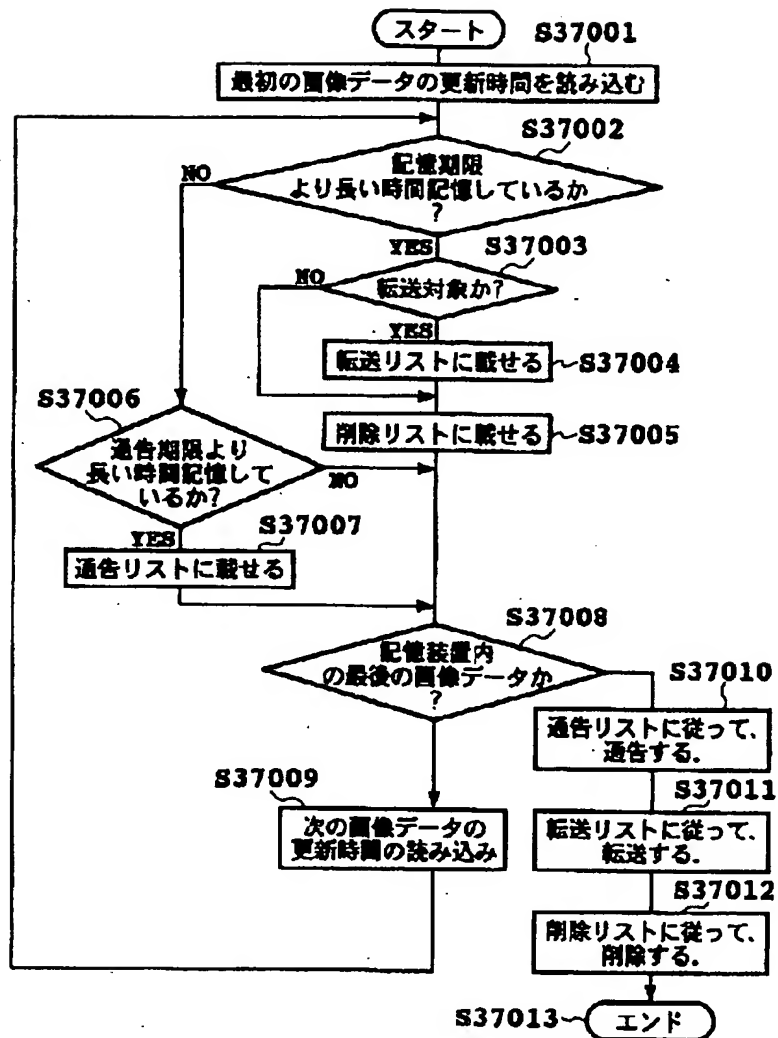
Subject : Warning from Image Server
to : xxx@xxxx
from : image-server@xxxx

イメージサーバからのお知らせです。

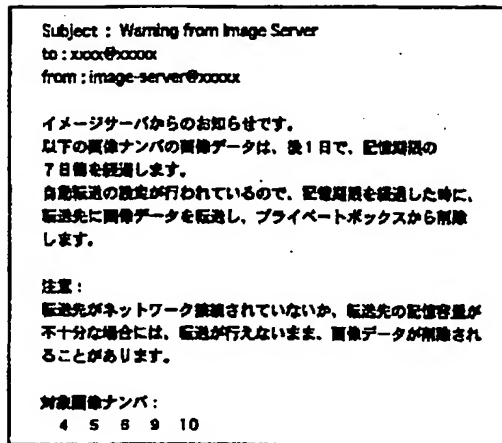
あなたが登録していたプライベートボックスは、
記憶されている画像データがなくなったので、
登録を解除させていただきます。

ご利用ありがとうございました。

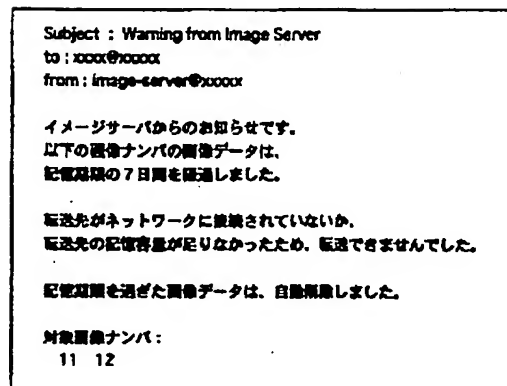
【図40】



【図42】



【図45】



【図46】

